

ケーススタディ

THALES

CYBERSECURITY

Erste Card Club :
タレスのpayShield
HSMにより安全な
決済処理の確保に
貢献

cpl.thalesgroup.com

Erste Card Clubについて

急速に変化する市場環境の中で、ErsteCardClub(ECC)は、南東ヨーロッパを代表する決済カードアクワイアラーの一つとして重要な役割を担っています。6万を超えるの加盟店ネットワークを有し、DinersClub、Visa、Mastercard、Discoverを含む国際カードブランドの取引を可能にしています。事業拡大を支えるため、ECCは高いパフォーマンスの維持と機密性の高い金融データの厳格な保護を重視しています。

課題

増大するセキュリティ要件と高トランザクション量の両立

今日のデジタル決済環境では、金融機関はシームレスな取引体験を提供しつつ、最高レベルのデータセキュリティを確保するという課題に直面しています。消費者の期待が高まり、規制要件が厳格化する中、決済サービスプロバイダーは常にこれらの要求に適応し続ける必要があります。

アクワイアラーであるECCは、大量のトランザクションを効率的に処理しつつ、厳格なセキュリティコンプライアンスを維持するという二重の課題に直面していました。同社はPCI DSS基準への準拠に加え、将来的なPCI PIN認証の取得にも備える必要がありました。また、量子コンピューティングの脅威が高まる中、先を見据えた暗号戦略も求められていました。

「最大の課題は、トランザクション速度を損なうことなく、最高レベルのセキュリティを維持することでした。事業規模に合わせて拡張でき、進化する業界標準に対応できるソリューションが必要でした」と、ECCのシステムサポート部長であるマリオ・オズヴァルド(Mario Ožvald)氏は述べています。

導入

Alfatecの専門的な地域サポートによる、タレスpayShield 10Kへのシームレスな移行

ECCはこれらの課題に対処するため、タレスのpayShield 10K HSM(ハードウェアセキュリティモジュール)を導入しました。同社はすでに、PIN生成、トランザクション承認、カード発行などの重要業務において、タレスHSM 8000の導入を皮切りに、約20年にわたりタレスHSMを活用してきました。

payShield 10Kはタレスが提供する第5世代決済用HSMであり、トランザクション処理、機密データ保護、決済資格情報の発行、モバイルカード受け付け、決済トークン化など、重要環境で実証済みの決済セキュリティ機能スイートを提供します。過去30年以上にわたる前世代製品と同様に、payShield 10Kは、イシューアー、サービスプロバイダー、アクワイアラー、プロセッサー、決済ネットワークなど、グローバルな決済エコシステム全体で利用できます。



業種
金融サービス



所在地
クロアチア、ザグレブ



ウェブサイト
erstecardclub.hr

payShield 10Kへの移行はシームレスに行われ、既存アプリケーションの変更は不要でした。移行プロセスには、ネットワークインターフェースの設定、レガシーシステムからのセキュリティ設定の移行、必要な暗号鍵のロードも含まれていました。

「payShield 10Kへの移行は驚くほどスムーズでした。既存インフラとの互換性により、運用を中断することなくアップグレードできました」と、ECCのシステムサポート部長であるマリオ・オズヴァルド氏は述べています。

タレスの信頼できる地域ディストリビューターであり、サイバーセキュリティおよびITインフラストラクチャソリューションを専門とするAlfatecは、四半期ごとの監査を含む継続的なサポートを提供しています。また、ECCの担当者がHSMデバイスの状態を24時間365日監視して報告できる体制を整え、途切れない運用を実現しています。「Alfatecの長年にわたるタレスとのパートナーシップと現地についての深い専門知識は、Erste Card Clubでの導入を成功させる上で重要な役割を果たしました。当社チームは、サポートの提供、継続的なシステム監視、定期的なセキュリティ監査を通じて、ECCのコンプライアンス基準達成を支援し、円滑な移行を実現しました」と、AlfatecのITセキュリティ部門ディレクターであるアズル・サチラギッチ(Azur Šaćiragić)氏は述べています。

成果

コンプライアンスの強化、可視性の向上、将来を見据えた暗号戦略

payShield 10K HSMの導入により、セキュリティと運用パフォーマンスで明確な改善が実現しました。ECCはPCI DSS認証を2025年11月まで維持することに成功し、現在はタレスとAlfatecの支援のもとPCI PIN認証取得に向けた準備を進めています。

新しいHSMにより、従来は実現できなかった24時間365日の監視機能が可能となり、暗号処理の可視性が大幅に向上しました。また、HSMコマンドの効率的な実行により、トランザクション処理速度が最適化されました。これらの強化により、ECCは機密データ保護の能力を強化しつつ、加盟店とカード会員が求める高速なトランザクション処理を維持できるようになりました。

「タレスのHSMは20年以上にわたり、当社の業務を保護する上で重要な役割を果たしてきました。その信頼性とAlfatecの専門的なサポートにより、現在も将来も機密データを確実に保護できるという自信を持っています」と、ECCシステムサポート部長のマリオ・オズヴァルド氏は述べています。

今後を見据え、ECCは自社インフラのデータセキュリティをさらに強化するため、タレスの追加ソリューションを検討しています。具体的には、今後の課題に対応する高度な暗号ソリューションや、ポスト量子時代のセキュリティ要件を満たすために特別に開発されたタレスの技術などが挙げられます。

タレスについて

タレスはデータセキュリティのグローバルリーダーとして、世界中で高い信頼を得ているさまざまな組織が、あらゆる場所で重要なアプリケーション、機密データ、およびIDを包括的に保護できるよう支援しています。タレスは、革新的なサービスと統合プラットフォームを通じて、リスクの可視化、サイバー攻撃の防御、そしてコンプライアンスギャップの解消を可能にし、毎日数十億人の消費者に安心して信頼性の高いデジタルエクスペリエンスを提供します。

「タレスのHSMは20年以上にわたり、当社の業務を保護する上で重要な役割を果たしてきました」

– マリオ・オズヴァルド氏、ECCシステムサポート部長